



週報

VOL XVI

佐沼ロータリークラブ

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

第768回例会

第769回例会

合併号

1979, 12, 27

1980, 1, 12

No. 22

例会場 七十七銀行佐沼支店ホール TEL(2)-2577
例会日 毎週木曜日 12.30~13.30
事務所 振興相互銀行佐沼支店 TEL(2)-2547

会長 千葉重雄
幹事 大河内清
週報 白石謙造 村上武彦 小林忠秋
阿部正美 秀義弥

第768回例会

◎ 本日の出席率 36名中31名出席 出席率86.11%
欠席会員 狩野会員、若見会員、遊佐(新)会員、布施(孝)会員、秀会員

◎ ニコニコボックス

○ 甲矢会員

12月5日結婚記念日を迎えました。誠におめでとうございます。

○ 門協会員

12月19日結婚記念日を迎えました。また12月20日次男正彦君18回目の誕生日を迎えました。誠にありがとうございます。

○ 布施孝之会員

奥様純子様12月30日42回目の誕生日を迎えます。誠におめでとうございます。

○ 佐藤(文)会員

12月18日次男尚君誕生日を迎えました。誠にありがとうございます。

◎ 会長要件

年の瀬も迫って今年もあと5日となりました。年末のご多忙のところ会員皆様にはお元気でご出席下さいましてありがとうございます。

先週のクリスマス家族会並びにオークション開催には皆様の絶大なるご協力を賜わりまして盛会に終了出来ましたことを心から感謝申し上げます。特にオークションを担当して下さった氏家(良)会員及び担当委員の方々に厚く御礼を申し上げます。

本日は今年最後の例会でございますが私達も皆様の暖かいご協力によりまして半年を大過なく過ごさせて頂き感謝致しますと共に残る半年を無事務めることが出来ます様皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

◎ 幹事報告

1月12日に恒例の新年会移動例会を鳴子ホテルで行います。従って10日の例会は12日に繰り下げとなります。会費は10,000円、不参加者からも5,000円いただきますので、ご了承下さい。

◎ 財団委員会(後藤会員)

本日、白石会員より準フェローから本フェローの申込みがありましたので皆様にご報告致します。白石会員に心から感謝申し上げますと共に他の会員からの申込みがあります様ご期待して居ります。

◎ 親睦委員会(壹岐委員長)

来る1月12日の新年会及び初例会を鳴子ホテルにて午後6時半より開催致すこととなりましたが多数ご出席願いたいと存じます。後程、出欠を確認致します。会費は出席者10,000円、欠席者5,000円となっておりますので宜しくお願い致します。

◎ 国際奉仕フォーラム(台湾訪問を前にして)

国際奉仕委員長 布施孝之

54年最後の例会を担当させていただき、丸で紅白歌合戦のトリをつとめる心境でございます。はじめに台北西門クラブから送られて来たクリスマス・カードをご紹介します。(李会長外会員一同からのもの一通。李会長、陳国際奉仕委員長から各一通)。この外に会員名簿と当クラブとの姉妹クラブ締結のことが載った会報が届いております。

次に陳委員長のお手紙を報告いたします。

「拜啓 11月8日及び12月5日付のお手紙拝読致しました。早速ご返事致すところ李会長出国の為返事が遅れて済みません。貴クラブと姉妹クラブ締結の件、昨日(11日)例会後引き続き理事会を開きめでたく通過致しましたので取敢えずお知らせ致します。尚御参考の為に本年8月14

日、川崎東ロータリークラブと姉妹クラブ締結調印證書の雛形中文、日文各一部お送り致します。孤児院に寄贈される運動用具は、社会奉仕委員長に依頼調査中で別に無理をしない程度でお願い致します。千葉会長さんをはじめ会員の皆様にもよろしく、今から貴クラブ員一同の御来訪を楽しみにお待ちしております。 敬具]

只今の手紙の中にありました姉妹クラブ締結同意書の雛形に当クラブを当てはめてみますと次のようになります。

『佐沼RC・台北西門RC 姉妹クラブ締結同意書』

国際ロータリー第252地区佐沼ロータリークラブと国際ロータリー第345地区台北西門ロータリークラブは姉妹クラブ関係を締結することに同意し左記の条項を定めます。

第1条……目的

両クラブ並に両クラブ会員の親善交流を通じロータリーの目的である「奉仕の理想」を推進する為に相互の理解と友情を深め、両国文化の振興と世界平和に寄与します。

第2条……締結期間

1980年1月29日から姉妹クラブとして効力を発生するものとします。締結期限は3ヶ年と定め、期限到達の事前に双方クラブの同意の下に書面を交わし、期間の延長が出来ます。(中略)

第3条……活動項目

1. クラブ刊行物、雑誌、文献其他を常時交換すること。
 2. 常時相互の活動及び其他の状況報告を行うこと。
 3. 会員が相手国旅行訪問の節は必ず姉妹クラブの例会に出席し且つ其の所属クラブの近況を報告すること。
- 4.5.(略)

以上各条項に双方クラブは同意し日本語、中華民国語による締結同意書夫々二通を作成し、各クラブに各一通を保管するものとします。

第252地区佐沼ロータリークラブ

会長・幹事・国際委員長 署名捺印

第345地区台北西門ロータリークラブ

社長・秘書・国際服務主委 署名捺印

以上のような形で調印の運びとなるわけです。

さて来月の訪台に当って、台湾と日本との関わり合いその歴史的背景その他の台湾事情について少し述べてみたいと思います。

明治27.8年の日清戦争が終結し、下関条約によって台湾は清国から日本へ割譲されました。これに不満の島民は台湾民主国を樹立し独立を宣言、反抗しましたが、間もなく日本軍によって鎮圧されました。

明治31年、児玉源太郎が台湾総督、後藤新平が民政長官となり、それまでの軍政を廃し民政に移し、警察を主体とする保安制度、島民撫育策をとるなどの施策で全島がほぼ平定されました。日本の台湾支配のねらいは、国内資本主義発展のための原料供給地、商品の市場として経営することにありました。

当初から膨大な国家資本、三井財閥資本が投下され、塩樟腦、アヘンなどの専売事業や台湾銀行、台湾製糖会社の創設などで多大の利益を上げることに成功しました。反面、住民には自治もなく国家の官吏が地方自治を担当し、州会や市会の議員も半数は官選でした。

台湾統治の根本精神は、明治天皇が言われた「一視同仁」が終始貫められていたのですが、その時代、時代の状況によっていろんなことがあったようです。戦時中には内台融和の名の下に、内台人の共婚が奨励されたり、台湾の姓を内地ふうに変更する改姓名が強制されたりしました。

台湾の人々の中には、これらを汚辱と感じ、汚辱の時代と感じている人も少なくないようです。しかし同じ植民地である朝鮮とくらべれば、現在の対日感情は好日的な人が多いのは事実です。

昭和20年、日本敗戦にともない日本は領土権を放棄、台湾は中華民国の支配下に移りましたが、間もなく国民政府は中国共産党によって大陸を追われ、台湾に逃れ台北を臨時首都として、アメリカの軍事、経済援助をうけて態勢を立て直しを計りました。時の総統は蒋介石、今は子息の蔣経国氏が政権をとっていますが、北京政権は「台湾解放」を呼びかけるのに対し、国府は「大陸反抗」を悲願としています。面積は九州よりやや小さく、人口は1,400万。

さて現在の世界における台湾の立場というものを考えてみたいと思います。台湾は中共の一省に過ぎず、国として認められておりません。もちろん国連の代表権もありません。世界の各国とは外交断絶、政府間レベルの交流はありません。しかし、狭い島国、人口の過密、少ない資源などを考えると、当然、世界を相手に貿易その他の経済的、文化的交流がないとやって行けないわけで、特に最も身近な日本との関わり合いが大きなウエートを占めています。

すでに、中国大陸(中共)と台湾では、人民の生活環境生活水準、価値観、文化、精神風土など大きく異なっていると思います。事ここに致っては、台湾は台湾、中国は中国として、お互いの立場を尊重してそれぞれが独立した国として認めざるを得ないのではないのでしょうか。時代の流れはそういう方向に進んでいると思います。

とにかく、今の台湾人民の心情は、何かふっ切れないもやもやとしたものがウツ積んでいるに違いありません。1月のわれわれの訪台が、これを癒すささやかな救いとなれば……と願っているわけです。

第769回例会(新年会・鳴子ホテル)

- ◎ 本日の出席率 全員出席
- ◎ ニコニコボックス なし
- ◎ 会長要件

本日は恒例の新年移動例会を当鳴子ホテルで開催いたしましたところ、会員皆様には多数ご参加いただきましてありがとうございました。

特に本日は要件もございませんので、直ちに新年会に入りたいと思います。十二分にご敬談下さい。

◎ 幹事報告

本日は私の方も特に報告事項はありません。17日の例会終了後に理事会を開き、来年度の各委員長の人選を行いたいと思います。20日までにガバナー事務所に報告しなければなりませんので、よろしく願い申し上げます。

……新年会に入り、和気あいあいの中に8時終了。……